日本古生物学会 2016 年年会・総会

2016年6月24日（金）～6月26日（日）：福井県立大学・福井県立恐竜博物館

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊1．プログラム　概要　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

6 月 24 日（金）会場：福井県立大学交流センター講堂

【13:00-16:30】　シンポジウム「恐竜の繁殖」(Dinosaur Reproduction) …… ii
【16:40-17:40】　総会 …… iii
【19:30-21:30】　懇親会（ユアーズホテルフクイ）…… iii

6 月 25 日（土）会場：福井県立大学 A～C 会場、ポスター会場

【 9:30-10:30】　学術賞受賞記念特別講演（A会場）…… iii
【10:50-12:05】　一般講演　口頭発表 1（A～C会場）…… iii-iv
【13:00-14:00】　一般講演ポスター発表コアタイム（ポスター会場）…… iv-vi
【14:15-15:15】　一般講演　口頭発表 2（A～C会場）…… vi-vii
【15:30-16:45】　一般講演　口頭発表 3（A～C会場）…… vii
【16:55-17:10】　ポスター賞表彰式（ポスター会場付近）…… viii
【17:20-18:50】　夜間小集会（A, B会場）…… viii

6 月 26 日（日）会場：福井県立大学　A,B 会場，福井県立恐竜博物館

【 9:00-10:00】　一般講演　口頭発表 4（A,B会場）…… ix
【10:15-11:30】　一般講演　口頭発表 5（A,B会場）…… ix -x
【13:00-17:00】　福井県立恐竜博物館　見学 …… x
【14:00-16:00】　普及講演（福井県立恐竜博物館　講堂）…… x
【15:00-17:00】　野外恐竜博物館見学ツアー …… x-xi

発表方法と発表機器についての注意事項など（必ずお読み下さい）…… xii-xiii
会場案内・交通案内など…… xiv-xvi

2016 年年会参加費　一般会員・非会員 5,000 円　学生会員 2,000 円　友の会会員 1,000 円
高校生以下無料（予稿集は有料 1 冊 500 円）

※熊本地震で被災された会員の方で、希望される方は年会参加費を免除いたします。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 2.プログラム 詳 細 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊

6月24日（金）

【13:00-16:30】福井県立大学交流センター　講堂

シンポジウム「恐竜の繁殖」(Dinosaur Reproduction)

後援：IGCP608「白亜紀のアジアー西太平洋地域の生態系システムと環境変動」

コンビナー：東洋一（福井県立大学）・宮田和周（福井県立大学）

恐竜の繁殖についての研究は、主に卵や巣の化石をもとに、1980年代後半から体系的な研究が進められてきた。90年代以降からは、南極とオーストラリア以外の大陸から恐竜の卵化石が次々に報告され、恐竜の繁殖に関する理解は急速に進んでいる。また、近年では日本国内の下部白亜系からも、鳥類を含む恐竜の卵殻化石の報告が続いた。恐竜の繁殖を研究することは、中生代における恐竜の長期間にわたる繁栄の理由を探るとともに、現生の鳥類がどのようにして多様かつ独自の繁殖方法を進化させたかの理解につながる。しかし、恐竜の繁殖に関する研究は歴史が浅く、その重要性については十分に周知されていないと思われるのが現状である。そこで、今回のシンポジウムでは、これまでの研究による恐竜の繁殖についての最新の知見を発表するとともに、恐竜の繁殖に関する研究の更なる普及と発展を議論することを目的とする。

13:00～13:05	趣旨説明　東洋一
13:05～13:30	**Learning from small pieces of eggshells**　今井拓哉（福井県恐竜博）
13:30～13:55	**Dinosaur eggs and associated vertebrate remains from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo Prefecture, Japan** 三枝春生（兵庫県立人と自然の博物館）他 3 名
13:55～14:20	**The Cretaceous fossil eggs from China** 金幸生（浙江自然博物館）
14:20～14:35	休憩
14:35～15:00	**The evolution of the ornithischian eggshell: State of the art and perspectives** Miguel Moreno-Azanza (Universidade Nova de Lisboa) 他4名
15:00～15:25	**Taxonomic affinity of the eggs and nests of *Macroelongatoolithus*** Darla Zelenitsky (University of Calgary) 他 3 名
15:25～15:50	**Comparative and parataxonomic studies of dinosaur eggshells belonging to oofamily Megaloolithidae from the Upper Cretaceous of Argentina**　Mariela Fernández (INIBIOMA-CONICET) 他 1 名
15:50～16:15	**Evolutionary transitions in reproduction from theropod dinosaurs to modern birds**　David Varricchio (Montana State University) 他1名
16:15～16:30	総合討論　宮田和周

※シンポジウムは参加費必要なし。会員に限らず、一般の方も聴講できます。ただし発表は英語のみ。

【16:40-17:40】　総会（福井県立大学交流センター　講堂）

【19:30-21:30】　懇親会（ユアーズホテルフクイ）

懇親会は予約制です。参加を希望される方は、必ず事前にメールかハガキで**6月19日（日）［必着］**までにお申し込み下さい。

会　費：一般会員・非会員・友の会会員…6,000 円，学生…4,000 円

申込先：柴田正輝（福井県立大学）

メール：sdino@fpu.ac.jp　※件名は「**日本古生物学会懇親会申込**」とし、会員の種別（一般、非会員、学生など）を明記してください。

ハガキ：〒910-1195 福井県吉田郡松岡兼定島 4-1-1
福井県立大学恐竜学研究所 柴田正輝 宛

会　場：ユアーズホテルフクイ　４階　芙蓉の間
〒910-0006 福井県福井市中央 1-4-8　tel.0776-25-3200
https://www.yours-hotel.co.jp/

移　動：総会後、県立大学→福井駅までシャトルバスを運行します。駅からは徒歩で移動します。

6月25日（土）福井県立大学　（共通講義棟）

【9:30-10:30】学術賞受賞記念特別講演（A 会場）

小松俊文　「多様化した中生代二枚貝化石群の群集構成」

【10:30～10:50】休憩

【10:50-12:05】一般講演 口頭発表 1（A～C 会場）

A 会場	B 会場	C 会場
古環境の部（1） **座長:松崎賢史**	**古脊椎動物の部（1）** **座長:木村由莉**	**生層序の部** **座長:小松俊文**
A01 w 鈴木紀毅　ポリキスティン放散虫の属・種多様性	B01 m 高井正成・タウンタイ・ジンマウンマウンテイン 新第三紀後半のミャンマーの陸棲動物相の変化	C01 w 上松佐知子・指田勝男・Mat Niza　マレーシアから産するオルドビス紀末の微化石群集
A02 w 松岡篤・李鑫　現生多節ナセラリア(放散虫)*Eucyrtidium* 属の生物学	B02 m 西岡佑一郎・平山廉・河野重範・荻野慎諧・合田隆久・安藤佑介 日本の中新世シカ類化石の最近の発見	C02 w 上松佐知子・指田勝男・西脇二一・奥村廣行・高木洋一・平松圭・町田南海子　ペルム系赤坂石灰岩から産するコノドント（続報）

古環境の部（1） 座長:松崎賢史	古脊椎動物の部（1） 座長:木村由莉	生層序の部 座長:小松俊文
A03 m 黒柳あずみ・豊福高志・長井裕季子・木元克典・川幡穂高・高嶋礼詩・西弘嗣　飼育実験に基づく硫化水素の浮遊性有孔虫への影響評価	B03 w 河村愛・張鈞翔・河村善也 台湾の更新統から産出した東アジア最古のオニネズミの化石	C03 m 山北聡　岐阜市金華山の下部三畳系黒色炭質粘土岩から産出したコノドント化石
A04 m 豊福高志・山本美希・Lennart Jan de Nooijer・長井裕季子・河田佐知子・藤田和彦・Gert-Jan Reichart・野牧秀隆・土屋正史・阪口秀・北里洋　底生有孔虫殻の石灰化を駆動する水素イオンの排出	B04 w 河村愛・三田村宗樹・張鈞翔・河村善也 台湾南部菜寮地域の第四紀哺乳類化石の産出層準	C04 _ 柏木健司・佐野佳緒里 岐阜県荘川地域の手取層群石徹白亜層群御手洗層から産した放散虫化石
	B05 w 河村善也・河村愛　台湾の高山に分布する現生キクチハタネズミの臼歯形態―台湾や琉球列島南部のハタネズミ属化石研究の基礎資料―	C05 w 鈴木拓馬・林広樹・柳沢幸夫・藤原治　上部中新統青麻層の模式地における浮遊性有孔虫生層序の再検討

【12:05-13:00】休憩

【13:00-14:00】一般講演 ポスター発表
（奇数番号コアタイム 13:00-13:30　偶数番号コアタイム 13:30-14:00）

P01 高橋恵里・守屋和佳　白亜紀中期セノマニアン期の浮遊性有孔虫（*Muricohedbergella delrioensis*）の形態進化と古海洋環境変動
P02 三輪美智子・古田土俊夫・鳥越隆弘　北海道苫小牧市勇払油ガス田坑井の中新統有孔虫化石群集（予察）
P03 宮崎靖ニ・入月俊明・松浦康隆・辻本 彰・林広樹　島根県松江市の中部中新統大森・布志名層の化石群集と古環境
P04 山田桂・入月俊明　後期鮮新世の日本海中層水温変動と No. 3 *G. inflata* bed の関連
P05 宇都宮正志・田中裕一郎・萩野恭子　円石藻 *Umbilicosphaera* 属の第四系最下部における多産と形態変異－ODP Site 709（西インド洋赤道域）の例－
P06 陳迪舒・罗辉・松岡篤　Triassic radiolarian records of the Yarlung-Tsangpo Suture Zone and their significance for the opening age of the Neo-Tethys
P07 一戸凌・椎野勇太・栗原敏之　静水環境下における現生放散虫の姿勢と受動的空間行動
P08 柏木健司・伊左治鎮司・佐野晋一・田中源吾　石川県白山市瀬戸野の手取層群石徹白亜層群桑島層（下部白亜系）の海生微化石相
P09 田中源吾・逸見泰久　上天草市維和島に分布する始新統白岳層より介形虫化石群の発見
P10 高橋潤・入月俊明・石賀裕明・瀬戸浩二　別府湾北東部守江湾の過去数千年間における環境と貝形虫群集の変化
P11 安藤佑介・河野重範・三宅優佳・瓜生梓・新山颯大・亀山宗彦・下山正一　第四系燃島シルト層および燃島貝層（鹿児島県，新島）から産出した十脚類化石
P12 大山望・脇田浩二・高橋文雄・篠田健二　山口県美祢市三畳紀美祢層群昆虫化石データベース構想
P13 湯川弘一・野田芳和・東洋一　下部白亜系北谷層から発見された昆虫化石（予報）

P14 御前明洋・小松俊文・三宅優佳　九州南西部甑島列島からの白亜紀後期アンモノイド *Eulophoceras*（スフェノディスクス科）の産出
P15 増川玄哉・安藤寿男　那珂湊層群から産出したアンモナイト・イノセラムスの分類学的再検討と大型化石層序
P16 竹田裕介・棚部一成・佐々木猛智・上杉健太朗・星野真人　放射光 X 線マイクロ CT を用いたアンモノイド顎器の三次元形態復元
P17 唐沢與希・野下浩司・前田晴良　アンモノイド類の殻断面における肥厚化を示す微細構造と，その力学的シミュレーション
P18 坂田凌輔・松岡篤　宮城県橋浦地域東部の志津川層群の二枚貝化石密集層と堆積環境
P19 佐野晋一・Jean-Pierre Masse・伊庭靖弘　北海道中央部蝦夷層群“オルビトリナ石灰岩”の厚歯二枚貝相
P20 伊左治鎮司・芳賀拓真・柏木健司　下部白亜系銚子層群から産出した微小巻貝化石
P21 田邉佳紀・市谷年弘　鳥取県明辺地区より産出した中期中新世貝類化石の追加標本
P22 磯和幸延・更科功・紀藤圭治・大島健志朗・服部正平・川島武士・藤江学・佐藤矩行・遠藤一佳　腕足動物における殻体タンパク質のプロテオーム解析
P23 滝澤護・髙柳栄子・山本鋼志・阿部理・佐々木圭一・井龍康文　最終氷期の腕足動物殻化石を用いた中琉球の古環境復元
P24 菊地一輝・小竹信宏　異なる有機物供給条件下での深海底生動物群集の変化：生痕化石研究からのアプローチ
P25 加藤萌・大路樹生・鵜沼辰哉　棘皮動物の骨格内炭素同位体比に食物が与える影響
P26 Nguyen Duc Phong・Nguyen Viet Hien・Nguyen Thi Thuy・Nguyen Huu Manh・Jerzy Dzik・Toshifumi Komatsu・Ryota Urakawa　Lower Ordovician conodonts *Cordylodus* from the Lutxia Formation in the Lung Cu area, northeastern Vietnam
P27 浦川良太・小松俊文・高嶋礼詩・前川匠・グエン・ダック・フォン　ベトナム北部ハーザン省のシーファイ地域に分布するトックタット層のフラスニアン・ファーメニアン境界について
P28 菅野詩織・中島保寿・疋田吉識・佐藤たまき　北海道中川町上部白亜系から産出したサメ化石 *Sphenodus*
P29 籔本美孝・石垣忍・田口栄次　岡山県新見市の備北層群より発見された中新世サバ科サワラ族魚類化石について
P30 宮田真也・籔本美孝　山形県鶴岡市に分布する関川層から産出した中新世コイ科魚類
P31 田中望羽・籔本美孝・佐藤たまき　下部三畳系マダガスカル産シーラカンス類の鱗
P32 松本涼子・スーザン・エバンス　四肢動物における口蓋歯の配列パターンとその機能について
P33 加藤太一・国府田良樹・安藤寿男・薗田哲平　茨城県ひたちなか市の那珂湊層群から産出した白亜紀爬虫類化石
P34 花井智也・對比地孝亘　ワニ類を中心とした主竜類における歯の交換様式の多様性
P35 服部創紀　化石主竜類における足部筋の進化史解明に向けた現生爬虫類における足部筋の相同関係の解明
P36 関谷透・叶勇・江山・彭光照　マメンチサウルス類の系統分類
P37 對比地孝亘・渡部真人・Khishigjav Tsogtbaatar・Rinchen Barsbold　モンゴル上部白亜系産カエナグナサス類(獣脚類：オビラプトロサウルス類)について
P38 浅井瞳・実吉玄貴・豊田 新・Khishigjav Tsogtbaatar・Buurei Mainbayar　モンゴル上部白亜系 Djadokhta 層の ESR 特性
P39 大橋智之　北部九州の杵島層群と芦屋層群産出の漸新世プロトプテルム科鳥類の再検討
P40 渡辺順也　鳥類四肢骨格プロポーションの個体発生と進化的変異性
P41 松井久美子　デスモスチルス類系統関係の再検討
P42 村上達郎・宮田和周・加藤敬史・鍔本武久　長崎県松浦市鷹島産サイ化石の系統解析
P43 半田直人・中務真人・國松 豊・仲谷英夫　ケニア北部の上部中新統ナカリ層から産出したクロサイ属（哺乳綱・奇蹄目）およびその古生物地理学的意義
P44 鍔本武久・國松豊・仲谷英夫・酒井哲弥・実吉玄貴・エマ=ムブア・中務真人　ケニアの上部中新統ナカリ層から産出した原始的カバ科 *Kenyapotamus* の追加標本

P45 田中嘉寛・古沢仁・ローレンス G. バーンズ　北海道沼田町の幌加尾白利加層（前期鮮新世）から産出した２つのヒゲクジラの下顎について
P46 水野史博・藤原慎一　抗重力筋のテコによる現生陸生哺乳類の距腿関節角度の復元法
P47 木村由莉　種間競争が担う食性進化への役割：小型哺乳類化石を例に
P48 松岡廣繁・舟橋京子・米元史織　大正‐昭和初期に「龍」を講じた解剖学教室の存在―九州帝国大学医学部進藤篤一教授の比較解剖学教育と骨格標本群―
P49 西村友志・矢部 淳・入月俊明　島根半島下部中新統古浦層の植物化石群集
P50 手塚翔太・山田敏弘　石川県金沢市に分布する中新統犀川層の花粉化石群集
P51 伊藤泰弘・佐々木猛智・松原尚志・兼子尚知　日本古生物標本横断データベースの紹介
P52 芝原暁彦・利光誠一　高詳細写真計測による化石標本の 3D 計測および展示手法
P53 兼子尚知・岩下智洋・河部壮一郎・鵜野光　多色３Ｄプリンタによる化石標本の透明模型
P54 河部壮一郎・北山浩生・服部創紀　魅せる恐竜の脳～型取りによる透明模型の開発～
P55 山口大貴・実吉玄貴・なぎビカリアミュージム　発掘体験キットの開発と博物館における展示
P56 後藤道治　アンモナイト類の螺環の内部構造を説明するための模型試作

高校生ポスターセッション

HP1 君付龍祐　有孔虫化石による水深の特定-知多半島は本当に深海だったのか-
HP2 吉村太郎　生殖周期と成長肋の関係が導くエゾキンチャクガイ（二枚貝：イタヤガイ科）における性的二型の可能性
HP3 田千佳・平野真梨奈・原田伊織　暁新世野田層群港層より産出した立樹幹化石の解剖学的分類と古環境研究

緊急ポスター報告

SP1 池上直樹・林辰弥 2016 年熊本地震による御船町恐竜博物館の被害状況

【14:00-14:15】休　憩

【14:15-15:15】一般講演 口頭発表 2（A～C 会場）

A 会場	B 会場	C 会場
古環境の部（2） 座長:上栗伸一	古脊椎動物の部（2） 座長:宮田和周	形態解析の部 座長:中島保寿
A05 m 板木拓也・佐川拓也 山陰沖 IODP Site U1427 の放散虫化石に記録された 1.4Ma 以降の生物生産と対馬海流の周期的変化	B06 w 村上瑞季・平山廉 千葉県房総半島の中新統最上部千畑層における鯨類化石相	C06 w 鈴木大輔・林昭次　オオトカゲの足関節の運動メカニズム
A06 w 佐川拓也　日本海南部で採取された２本の堆積物コアから復元された千年スケール表層水温変動	B07 w 村上瑞季・平山廉 千葉県銚子市の鮮新統名洗層におけるハクジラ類化石相	C07 m 犬塚則久　クマ類の前肢の姿勢の由来と進化的意味

古環境の部（2） 座長:上栗伸一	古脊椎動物の部（2） 座長:宮田和周	形態解析の部 座長:中島保寿
A07 w 久保田好美・鈴木希実・木元克典・内田昌男・板木拓也・池原研・Ryoung Ah Kim・Kyun Eun Lee　沖縄トラフにおける最終氷期以降の鉛直水温勾配変動：黒潮との関係	B08 m 蔡政修　Misleading phylogeny? How ontogeny recapitulates phylogeny in baleen whales	C08 w 浦野雪峰・松本涼子・河部壮一郎・田上響・大橋智之・藤原慎一　クチバシの骨質部とそれを覆う角質の成長方向の関係
A08 w 松井浩紀・西弘嗣・ 黒柳あずみ・高嶋礼詩・池原実　漸新世温暖期に生じた浮遊性有孔虫生息深度変化の緯度分布	B09 m 岡村太路　ハクジラ類における環椎後頭関節の可動角の復元	C09 w 田中公教・飯島正也・小林快次・Timothy Tokaryk・Stephen Cumbaa　最古の潜水鳥類ヘスペロルニス目における前後肢の相関進化

【15:15-15:30】休　憩

【15:30-16:45】一般講演 口頭発表 3（A～C 会場）

A 会場	B 会場	C 会場
古環境の部（3） 座長:久保田好美	古脊椎動物の部（3） 座長:久保泰	形態解析･分類の部 座長:田中源吾
A09 m 上栗　伸一・Ted Moore　前期/中期中新世境界における東赤道太平洋の海洋環境変遷	B10 m 薗田哲平・東洋一・平山廉・安藤寿男　福井県勝山市の下部白亜系手取層群北谷層より産出したアドクス属（スッポン上科アドクス科）の分類学的検討	C10 m 佐々木猛智・竹田裕介・棚部一成・上杉健太朗・星野真人　軟体動物頭足類の摂餌器官の機能形態
A10 m Kenji M. Matsuzaki・Takuya Itaki　Radiolarians as a paleoceanographic proxy in the East China Sea	B11 m 築地祐太・東洋一・白石史人　福井県勝山市に分布する手取層群北谷層より産出したイグアノドン類足跡化石	C11 m 野下浩司　腹足類殻形態の理論形態空間の対応関係とその変換
A11 w Lanlan Zhang･Noritoshi Suzuki　Radiolarian studies in the South China Sea	B12 m 柴田正輝・東洋一　奇妙な鳥盤類恐竜の腸骨について	C12 w 生形貴男　化石記録の不完全性に基づく形態学的希釈法
A12 _ Gang Li　Millennium scale climate warming detected by clam shrimp faunal change during Middle-Late Jurassic transition cooling episode in western Liaoning, north-eastern China	B13 w 酒井佑輔・真鍋真・伊左治鎮司・平山廉・松本涼子・籔本美孝・松岡篤　福井県大野市九頭竜地域の手取層群伊月層より産出する前期白亜紀生物群	C13 w 後藤道治　下部ジュラ系来馬層群から産出した固着性二枚貝 *Harpax* とその意義
	B14 w 宮田和周・東洋一・羅哲西　日本初の中生代哺乳類骨格化石	C14 _ 高橋宏和　北陸地域の下部中新統における熱帯性干潟貝類化石の産状

【16:55-17:10】ポスター賞表彰式（ポスター会場付近）

【17:20-18:50】夜間小集会

(A 会場)「久慈層群玉川層（後期白亜紀）の地質と古生物について」

世話人：平山廉（早稲田大学）
趣　旨：岩手県久慈市に分布する上部白亜系久慈層群玉川層からは、近年多様な動植物の化石が発見されている。脊椎動物には少なくとも２１のタクサが認められ、資料総点数は千点を超えている。夜間小集会では、地質概説と併せて各脊椎動物群について予察的な報告を行い、今後の調査への指針としたい。

吉田将宗（東京大学）「趣旨説明」
三塚俊輔（日本工栄）「久慈層群の地質層序と堆積シーケンス」
平山廉（早稲田大学）「久慈層群玉川層より産出した脊椎動物化石の概要」
松本涼子（神奈川県立生命の星・地球博物館）「コリストデラ類」
武川愛（東京大学）「ワニ類」
黒須球子（中国地質大学）「玉川層から新たに発見された獣脚類」

(B 会場)「３D 計測学 」

世話人：野下浩司（東京大学）
趣　旨：近年のイメージング技術の発展と測定機器の一般化により、表面データや 3D ボリュームデータといった3次元的な形態データを取得するハードルは低くなっている。その結果、3 次元形態データ利用した研究は分類群を問わず増えつつある。本集会では、こうして得られた 3 次元形態データから生物学的に有用な情報を取り出すために定量的解析をおこなった研究例を紹介する。それを踏まえ、3 次元形態データを対象とした形態測定学的研究をおこなう上での課題とノウハウの共有をおこないたい。

野下浩司（東京大学）　趣旨説明+講演
河部壮一郎（福井県立恐竜博）　講演

※ 夜間小集会後の福井駅行きのバスは19:15発です（最終便）。最大90名までですのでご注意ください。

6 月 26 日（日）福井県立大学（共通講義棟）

【9:00-10:00】一般講演 口頭発表 4（A,B 会場）

A 会場	B 会場
古環境の部（4） 座長:黒柳あずみ	古脊椎動物の部（4） 座長:對比地孝亘
A13 m 入月俊明・上田ゆかり・藤原勇樹・廣瀬孝太郎・石賀裕明・瀬戸浩二　愛媛県燧灘西部の江戸時代以降の貝形虫・珪藻群集と環境の変化	B15 w 今井拓哉・東洋一・柴田正輝・宮田和周　手取層群北谷層（福井県勝山市）から産出した、日本初の白亜紀前期鳥類全身骨格化石
A14 w 藤原勇樹・入月俊明・酒井哲弥・佐々木志帆　島根県隠岐諸島諏訪湾における過去 7,000 年間の貝形虫群集と古環境変化	B16 w 池田忠広・太田英利・松井正文・三枝春生・半田久美子 兵庫県の下部白亜系篠山層群から発見され，最近，新属新種として記載されたカエル類化石の特徴と意義について
A15 w 野村律夫　宍道湖における有機炭素・窒素の分布特性と有孔虫群集	B17 m 平山廉・倉谷滋・中島保寿 古生代ペルム紀の爬虫類 *Eunotosaurus africanus* について
A16 _ 北村晃寿 貝化石群集解析・堆積相解析に基づく静岡県焼津市浜当目低地の古津波・古地震の履歴	B18 m 中島保寿・薗田哲平・Igor G. Danilov・Torsten M. Scheyer・平山廉　「中期」白亜紀に起こったスッポン科の初期進化と現存する淡水カメ類相の起源について

【10:00-10:15】休　憩

【10:15-11:30】一般講演 口頭発表 5（A,B会場）

A 会場	B 会場
古環境の部（5） 座長:山田敏弘	古脊椎動物の部（5） 座長:関谷透
A17 m 谷口拓海・鈴木寿志・石田志朗　ケニア、スグタ谷から見いだされた化石珪藻について	B19 w 久保泰・柴田正輝・Wickanet Songtham・Pratueng Jintasakul・東洋一　タイの下部白亜系コク・クルアト層産出の正鰐類化石
A18 m ルグラン ジュリアン・寺田和雄・湯川弘一・矢部淳・山田敏弘・西田治文　手取層群のパリノフローラから見た内帯日本白亜紀前期の古植生と古環境	B20 w 飯島正也・小林快次・高橋啓一　大分県宇佐市の津房川層（鮮新統）より産出したワニ化石の再検討

A 会場	B 会場
古環境の部（5） **座長:山田敏弘**	**古脊椎動物の部（5）** **座長:関谷透**
A19 m 矢部淳　邦産コウヨウザン属化石の古生態について－前期更新世美濃白鳥植物群の化石から	B21 w 三枝春生・池田忠広 *Tambatitanis amicitiae* の骨格復元
A20 _ 大石徹･寺田和雄　珪化木の形成について	B22 w 田中康平・Darla Zelenitsky・François Therrien･小林快次　恐竜は極域でいかに営巣したか
A21 w 十津守宏　グールド再考	

【13:00-17:00】福井県立恐竜博物館 見学

チャーターしたバスで移動できますが､人数に制限があります｡バスの運行表は6月以降、古生物学会HPにアップしますので、時刻表を確認の上、各自で移動スケジュールを組んで下さい。

※博物館見学には､学会参加受付時にお渡しする名札が必要ですので必ずご持参下さい。紛失した場合には、入館料をお支払いいただくことになりますので、ご注意ください。

【14:00-16:00】普及講演　（シンポジウム演者３名による）

会場：福井県立恐竜博物館（勝山市）講堂

14:00～14:05　挨拶　野田芳和　（福井県恐竜博）

14:05～14:15　恐竜卵研究について　今井拓哉（福井県恐竜博）

14:15～15:00　鳥盤類恐竜における繁殖の進化
ミグエル・モレノ＝アザンザ　（ポルトガル、ヌエバ・デ・リスボン大学）

15:00～15:10　休憩

15:10～15:55　家庭を持った『傷つける歯』: 白亜紀の獣脚類、トロオドン・フォルモススの繁殖
デイヴィッド・ヴァリッキオ（アメリカ、モンタナ州立大）

15:55～16:00　質疑応答

※ 日本人以外の講演は英語で行いますが、日本語による逐次通訳があります。

【15:00-17:00】野外恐竜博物館見学ツアー

・ 参加を希望される方は、必ず事前にメールかハガキで**6月8日（水）～6月23日（木）［必着］**の間にお申し込み下さい。先着順で受け付け、定員60名に達した時点で締め切らせ

ていただきます。（ハガキでの申し込みの場合，メールアドレスや電話番号など，返信手段を明記してください。）

- 学会参加費（iページ参照；県立大で未払いの方）と野外恐竜博物館利用の団体料金（一般1,000円、高大生800円、小中学生500円）が必要となります。支払いは当日、野外恐竜博物館受付にて、各自でお願いします。
- 小学生以下は保護者の同行（1名まで）が必要です。同行者の学会参加費は必要ありませんが、野外恐竜博物館利用の団体料金は支払ってください。
- 恐竜博物館から専用バスによる移動となります。自家用車での移動はご遠慮ください。
- 野外恐竜博物館の詳細は　http://www.dinosaur.pref.fukui.jp/visit/fieldstation　をご覧ください。

申込・問合：河部壮一郎（福井県立恐竜博物館　電話 0779-88-0001（代表））
メ　ー　ル：fukuinenkai@dinosaur.pref.fukui.jp
※件名は「**野外恐竜博物館申込**」としてください。
ハ　ガ　キ：〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾 51-11
福井県立恐竜博物館　河部壮一郎 宛

申し込みの際には以下の情報をお伝えください。

- 参加希望者（小学生以下であれば同行者も）
- 一般会員/学生会員/友の会会員の区分
- 一般/高大生/小中学生の区分
- 住所
- 電話番号あるいはメールアドレス

＊＊＊＊＊3. 発表方法及び機器についての注意事項など ＊＊＊＊＊

口頭発表の場合

データの受け渡しは、受付でおこないます。6月24日（金）午後からの受付とし、24日は講堂１F入口受付近く、25・26日はA会場とB会場の間に設置する受付付近でおこないます。時間により混雑いたしますので、時間に余裕を持ってお越しください。受付にはWindows（PowerPoint 2013）とMac（PowerPoint for Mac 2011、Keynote 6.6.1）を準備していますので、各自で動作確認をお願いします。なおファイル名は本プログラムの番号を利用し「A05m_shibata（筆頭演者）」としてください。

＊発表データの締切：25日（土）午前の発表は当日9:30、午後の発表は13:00まで、26日（日）発表は当日8:30までに提出してください。

ポスター発表の場合

ポスターのサイズはA0版（横841mm×縦1,189mm）が基準です（画鋲可）。１発表につき横90cm×縦180cmのボード１枚を使用します。

ポスター発表のコアタイムは、6月25日（土）13:00-14:00ですが、ポスターは同日の朝から貼ることができます。なお、ポスターは、6月26日（日）12:00までに撤収してください。

詳しくは会場受付又は会場係までお尋ねください。

会場及び発表方法・機器に関する問い合わせ先

会場係：柴田正輝（福井県大恐竜研） E-mail：sdino@fpu.ac.jp
電話：0776-61-6000（代表），Fax：0776-61-6035
行事係：遠藤一佳（東京大学）E-mail：endo@eps.s.u-tokyo.ac.jp

懇親会について　本プログラム iiiページ参照

昼食について

・ 6月24日（金）は大学の食堂は利用できます。また、大学周辺には、徒歩圏内にローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、ラーメン店（１軒）があります。また、6月25日（土）、26日（日）のお弁当（600円税込、お茶付き）の事前予約を受付けますので、下記担当まで、6月20日（月）必着でメールあるいはハガキにてお申し込みください。なお、両日ともお弁当の配布と支払いは学生会館ホールにて行ないます（xv、xviページ地図参照）。

申込・問合：河部壮一郎（福井県立恐竜博物館 電話 0779-88-0001（代表））
メ　ー　ル： fukuinenkai@dinosaur.pref.fukui.jp
※件名は「**弁当申込**」としてください。
ハ　ガ　キ：911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾 51-11
福井県立恐竜博物館 河部壮一郎 宛

・ 飲食は、休憩室やポスター会場周辺でお願いいたします。講演室内での飲食はできません。喫煙所については受付にて確認してください。

その他

・ 休憩室　24日は学生会館ホール、25,26日は学生会館ホールおよび共通講義棟休憩室（地図参照）をご利用ください。
・ 盗難対策　学会開催中の盗難が報告されています。貴重品は各自の責任で管理をしてください。
・ 車での来場　大学駐車場をご利用いただけます。事故等については責任を負いかねます。各自でご対応いただきますようにお願いいたします。
・ シャトルバス　シャトルバスには定員がございます。希望通りご乗車できない場合がありますので、ご了承ください。
・ 恐竜博物館の見学について　学会参加受付時に記入した名札にて**本人に限り**、博物館を無料で見学していただけます。ただし、学会開催期間(6/24～6/26)に限らせていただきます。
・ 写真およびビデオ撮影について　発表者の許可なく講演およびポスター発表を撮影することを禁止します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ 4. 会場案内 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

福井県立大学（学会会場）および 福井駅周辺の案内図

福井県立大学■〒910-1195 福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島 4-1-1 tel.0776-61-6000
福井県立恐竜博物館■〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾 51-11 tel.0779-88-0001
ユアーズホテルフクイ■〒910-0006 福井県福井市中央 1-4-8 tel.0776-25-3200

福井県立大学（学会会場）への 交通アクセス

公共交通機関ご利用の場合

■飛行機

・小松空港バス（京福バス）④番乗り場 → JR 福井駅東口降り場 … 約 55 分（片道 1,250 円）
時刻表 http://www.komatsuairport.jp/access/docs/H28.3.27-4.30_京福バス.pdf

→ 京福バス JR 福井駅西口バスターミナル ❶ 番乗り場【33・34・35・37 系統】
時刻表 http://bus.keifuku.co.jp/rosen/

大学病院線「県立大学」下車 …… 約 40 分（590 円）

■バス

・京福バス…JR 福井駅西口バスターミナル ❶ 番乗り場【33・34・35・37 系統】
時刻表 http://bus.keifuku.co.jp/rosen/

大学病院線「県立大学」下車 …… 約 40 分（590 円）

自動車をご利用の場合

・JR 福井駅前 …… 約 20 分
・北陸自動車道　福井北 JCT・IC から …… 約 10 分
　　丸岡 IC から …… 約 10 分

臨時シャトルバスをご利用の方（駅東口案内図）

会場へのバスは西口バスターミナル①と東口の臨時シャトルバスがあります。
臨時シャトルバスの時刻表については６月以降に古生物学会HPにてご確認ください。

福井県立大学（学会会場）キャンパス内の案内図

学会会場案内図

学生会館へ
女子トイレ
男子トイレ
EV
2F
講堂
2F 講堂出入口
EV
自販機
1F
受付
エントランスホール
講堂
ステージ
トイレ
スロープ
入口
1
キャリアセンター
▼第 2 駐車場
シンポジウム会場（交流センター講堂）
学生食堂
厨房
中庭から
売店・書店
ホール
学生会館 1F
トイレ
スロープ
シンポジウム会場から
学生会館
共通講義棟
中庭
2
1
交流センター
バス停
A～C 会場（共通講義棟）
トイレ
A
B
C
受付
◀中庭
2F へ
110
ポスター会場
EV
入口
2
▼バス停へ
自販機
トイレ
外階段 2F へ
休憩
販売など
控室
トイレ
1F
本部
2F
トイレ
外階段 1F へ